

番号	氏名	抱負
011	安達 登志樹	技術学会のグローバル化の促進に向けて、微力ではありますが協力していきたいと思います。
012	安部 真	関東部会の会員として、また関東部会役員として、本部の動向を把握し、地域の会員、非会員への確実な情報提供を旨として臨みます。
013	阿部 養悦	日本放射線技術学会は、今、大きな変革期を迎えており、学会の国際化は、年を追う毎に着実に成果を上げている。過渡期であるため多少の混乱もあるとは思うが今後数年で、より一層国際化は進むものと思われ、いよいよ本学会も国際学会の一翼を担うものと期待したい。このような状況の中で、本会の発展に寄与するため、微力ながら尽力したいと考え立候補させて頂いた。また、本部と地方のパイプ役としても本会に貢献したい。
014	天野 雅史	公益社団法人日本放射線技術学会代議員立候補の抱負として、中国・四国部会等の地方では会員数が減少傾向にあり今後の動向が懸念されます。また地方からの代議員数も少ないため、一人でも多くの代議員を確保できるようこのたび立候補させて頂きました。今後の技術学会の向上やできるだけ地方の意見が反映されるよう努力したいと考えております。
015	栗井 一夫	本学会が公益財団法人としての社会的責任を果たせているか、代議員として監視させて頂きます。
016	安藤 猛晴	
017	飯田 紀世一	今回代議員立候補させて頂きました東京慈恵会医科大学附属病院の飯田紀世一です。現在、東京部会理事として部会運営と大会開催委員として本部運営にも携わらせて頂いております。健全な学会経営そして学会運営の円滑な遂行と発展のために、微力ではありますがその経験を活かしお役に立てるよう最善の努力を尽くしていきます。どうぞ宜しくお願い致します。
018	飯田 泰子	貴会と放射線技術の益々の発展の為に、微力ながらお役に立てるよう努めて参る所存でございます。
019	飯村 浩	平成24年より東京部会で役員として、地域の学術活動の普及に取り組んでいます。本部の代議員になった暁には、東京部会委員の声を本部に伝え、また当学会が学術団体としてより良くなるように知恵を絞りたいと考えています。
020	五十嵐 隆元	放射線防護分科会長として2期目をむかえております。原発問題や診断参考レベルの設定など、山積する案件がたずあります。防護の立場から学会へ声を届けていきたいと思います。